

ひの  
議会だより

No. 132

令和4年5月

発行/鳥取県日野町議会



日野に生きる 第7回

# わすれんぼカフェは大賑わい

裏表紙に記事を掲載しています。

## 主な内容

3月定例会 令和4年度当初予算審議 .....	P2~5
予算審査特別委員会を設置し、議論を深める！	
特別会計・条例改正・令和3年度補正予算・臨時議会 .....	P6
採決表・臨時議会(1月・2月) .....	P7
一般質問(5人) .....	P8~10
委員会活動報告 .....	P11
議会アンケート集計結果の発表 .....	P12~19
217人の町民の皆さまに回答をいただきました	
日野に生きる「わすれんぼカフェは大賑わい」 .....	P20

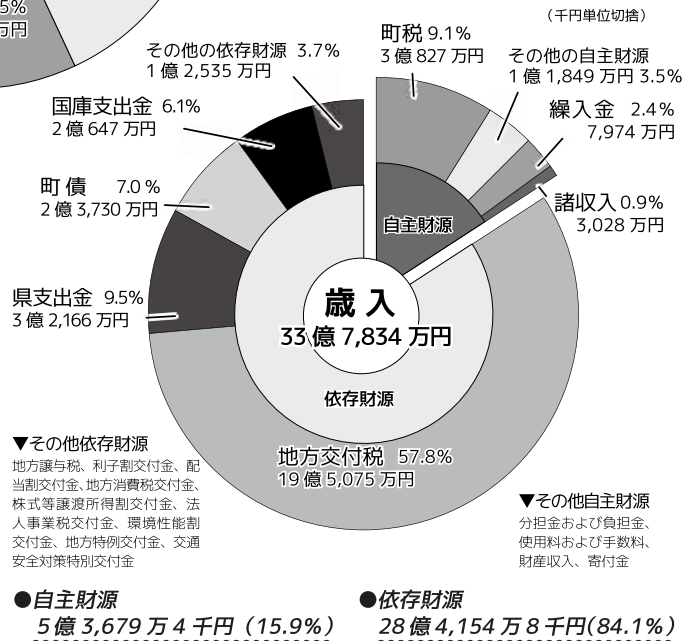
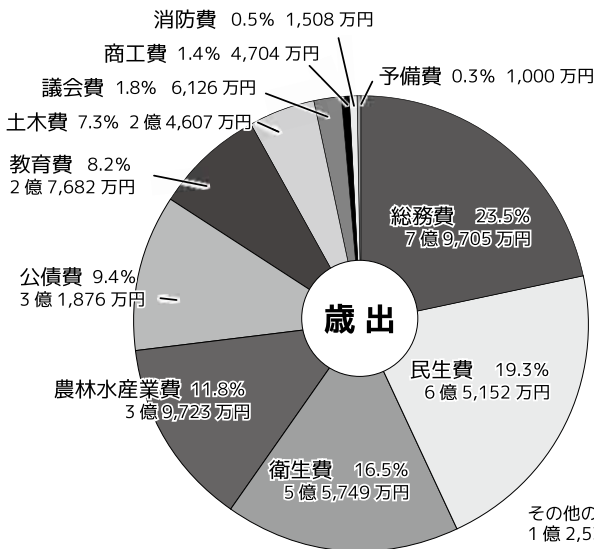
議会の提案が実現！

# クシー料金が上限500円に

3月定例会

議会では新たに予算審査特別委員会を設置  
徹底議論の上、賛成多数で当初予算案を可決しました。総額33億7850万円

一般会計歳出総額 33億7,834万円 (千円単位切捨)



予算審査特別委員会とは？  
予算審査特別委員会は、予算審査のために本会議で議決され設置される委員会です。  
日野町議会における予算審査特別委員会は、平成27年度を最後に設置されていませんでしたが、より一層の議論を深めるべく、特別委員会を再設置することと致しました。  
本3月議会においては、当初予算案のすべての事業について、すべての担当課から説明を求め、6日間にわたって審議を尽くしました。予算の関係もあってテレビ中継は1日のみとなりましたが、当「ひの議会だより」では、そうした議論を含めて当初予算の記事をまとめました。  
ご意見、ご感想をお寄せください。

# 公共交通をもっと使いやすく！ 助成券利用者の夕

## 生活交通確保対策事業 7132万5千円

**タクシー助成券の利用料金が上限  
500円になります**

議員 この事業の中に、タクシー助成券の利用料金を上限500円とする案が含まれています。利用率が上がってくると思いますが、詳しい説明を。

課長 運行増が見込まれますので、助成券の予算を100万円から150万円に増額しました。距離にしておおむね7キロまでは、これまで1000円だったところ、1年間の実証実験として500円とします。

議員 タクシー助成券の枚数が今までは1人48枚だったが、2倍の96枚に増える。これは良いことですが、ただし、48枚以上欲しい人は申し出ることになっている。始めから96枚配ってはどうですか。

課長 きめ細かく、その一人一人の実情に応じて、96枚までは使えることを声かけしていきます。



## 買い物福祉サービス支援事業 740万円

**委託料が増額されます**

議員 なぜ予算を増額するのか、説明を詳しく求めたい。

課長 燃料の高騰や人件費のアップ、車の修繕なども含めて、この事業全体が企業努力では立ち行かなくなっております。県の有利な補助事業の活用と過疎債を財源に充てています。日野町にとって大変重要な事業であり、中山間地域の暮らしを守る移動販売と見守り活動を含めた事業を継続するための増額となっております。

議員 委託先あくまでも事業者。事業主の利益がこれだけ出るので、差額の足りない部分を補助してくださいという理屈なら分かるが、お考えを伺います。

課長 この事業には、事業者さんの儲け分は入っておりません。事業を進めていただく方に、委託料として支援させていただくというものです。



# 主な事業

## 道路維持管理一般管理

3719万1千円

議員 現在、町道維持管理等の作業は4名の臨時職員体制（人件費909万9千円）で行われているが、このままの体制で進められま  
すか。  
課長 作業員を確保し、町有施設の維持管理を行うとともに、各路線の安全管理を目的とした見守りと、迅速な修繕に対応できるように状況把握を実施します。

## 集落支援事業

978万7千円

議員 専任の集落支援を2人採用するほかに、地域づくり事業推進員という新しい名称の人員が配置されるということだが、その意図について伺います。  
課長 兼業の集落支援員さんとして採用します。今、自治会長さんには地域活性化交付金の申請などさまざまお願いしているが、それが難しくなっている集落もあります。そういう集落に推進員さんを入れていきたい。  
議員 それはすべての地区に配置する方針ですか。

課長 令和4年度はモデル的に進め、やがては多くの自治会に事業推進員を配置し、小さな拠点を作っていきたいと考えております。



3月定例会

## 带状疱疹ワクチン 接種事業

46万円

議員 带状疱疹ワクチン接種を行うに至った背景を伺います。  
課長 令和2年度から带状疱疹の患者が増加しつつあるとの報告が日野病院からありました。加齢やストレスが大きく関係し、重症化するリスクもある。接種することで安心して暮らせるようになると判断し、助成の決定に踏み切りました。

## 社会福祉協議会 助成事業

1527万1千円

議員 社会福祉協議会への補助金は、令和3年度は前年度に比べて約400万円多く、また、令和4年度も前年度より約300万円多く出すようになっていますが、これについて説明を求めます。

課長 人件費、光熱水費、備品費等々、社会福祉協議会が1年間運営される必要経費のほか、事業強化を図りたいという申し出もありました。

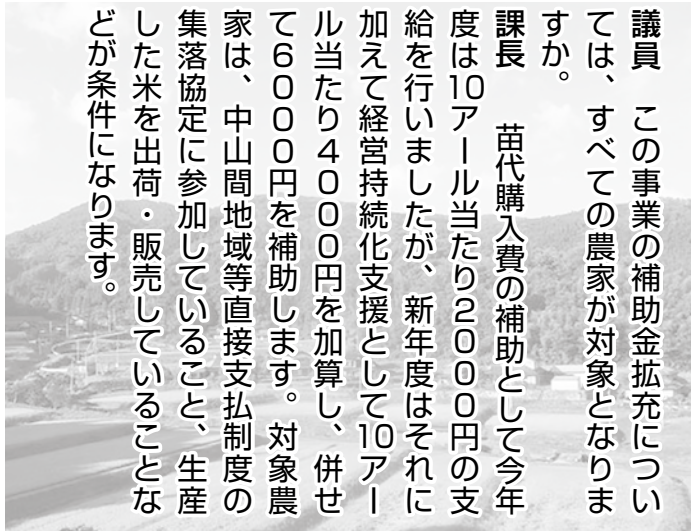
地域の助け合い・支え合いの体制づくり、地域の防災対応力の向上を柱として4年度事業を実施したいということです。その組織強化のため、新しい事務局長を外部から招くのをはじめ、生活支援コーディネーターを1名、事務局次長を1名、嘱託職員1名、臨時職員2名の6名体制を敷くことになりました。



## がんばる米づくり農家 支援事業補助金 600万円

議員 この事業の補助金拡充については、すべての農家が対象となりますか。

課長 苗代購入費の補助として今年度は10アール当たり20000円の支給を行いました。新年度はそれに加えて経営持続化支援として10アール当たり40000円を加算し、併せて60000円を補助します。対象農家は、中山間地域等直接支払制度の集落協定に参加していること、生産した米を出荷・販売していることなどが条件になります。



## オシドリ観察小屋 新設事業 2010万円

議員 移転の目的と趣旨について詳しい説明を。

課長 観察小屋は伯備線鉄橋の河川敷内にあり、かねてから問題になっていました。そこで関係各機関と協議の結果、日野高校敷地内への移転・新設を計画することになりました。移転・新設することによって、より安全で快適な観察環境を提供でき、日野町の新たな観光資源としても発信できることとなります。



## 子育て世代包括支援センター (日野町ネウボラ) 430万4千円

議員 日野町ネウボラ(注参照)の具体的な活動と、どこが主体的に展開するのかわかりますか。

課長 平成28年4月1日に開設され、妊婦から乳幼児まで世帯ごとに担当保健師を配置し、妊婦期から子育て期に至るまでのニーズに対して切れ目のない総合的相談支援、各種サービスを行う事業です。健康福祉課が窓口となり、今年度は新たに「鳥取県日野町とっとり子育て応援パスポート事業」を推進します。

また今年度は、子育て支援アプリ「母子モ」を導入します。これは、母子健康手帳サポート機能記録・管理・予防接種種をスマホやタブレットのアプリで簡単に管理できるものです。

(注) ネウボラとはフィンランド語で「アドバンスの場所」を意味します。

### 予算審査の結果報告

予算審査特別委員会  
一般会計当初予算については、次に述べる意見を付した上、賛成多数で原案を可決すべきであると決定した。

(付帯意見)

1、買い物福祉サービス支援事業  
見守り活動については、その実施方法について引き続き調査・研究をされたい。また、町民の中には、移動販売車まで出掛けることのできない方も少なくないので、地域での生活を支える幅広い買い物支援策についても今後検討されたい。

2、社会福祉協議会助成事業

運営費補助金が町補助金等交付規則等に基づいて適切に支出され、また、協議会運営が町民のために効果的に行われるよう、必要な監督や指導、助言を行い、今まで以上に社会福祉協議会との連携を強められたい。

## 日野高校魅力化対策 2349万6千円

議員 日野高校の魅力化に向け、今後、町としてはどのように予算化し関わっていくのか。

課長 日野郡3町が連携し、学校説明会、中学校訪問説明会を通じた情報発信、メディアと広報誌を活用した広報活動、そしてシンポジウムの開催などを今まで以上に展開します。また、日野町単独で寮費を負担し、下宿先の確保をします。さらには特色ある部活動の魅力発信を強化し、令和5年度の入学者数52名(定員76名)を目指します。



# 一般会計予算

## 討論

### ● 反対討論

**議員** 部落差別解消の推進に関する法律は、差別の規定期間はつきりとなく、しかも時限立法とされてきたものが恒久法とされました。本町においても、年間2000万円前後の予算が毎年支出をされています。

誰もが自由で平等な社会を実現していくためにこそ全力を挙げることがその責務であることを述べて、反対討論といたします。

力向上など教育の充実と、子育て支援。農林業の振興を図るための事業。観光客の集客や地元商工業を支援する事業など。町民の皆様の安心安全な生活向上のための予算となっており、賛成の討論といたします。

**議員** 日野町社協に対しては、職員の頻繁な入れ替わりなど、未だ改善されたとはいえない状況ではあります。新年度の予算には新事務局長招聘に関連する措置も含むとの説明がありました。このように、少なくとも改革の方向に向かう姿勢は示されています。

会長をはじめとする現理事による予算増額の要求に込められた改革への決意と、それに応えた町による高額の支援、すなわち改革に向けた町のこれまで以上の監督や指導、連携に期待し、本予算案に賛成するものであります。

## 採決

採決の結果、賛成8人、反対1人で可決されました。

### ● 賛成討論

**議員** 町民生活に不可欠な事業、対策が数多く盛り込まれています。集落の維持や公共交通の確保、町の活性化を図るための事業。福祉向上や医療の充実を図るための事業。義務教育学校やふるさと教育、日野高校魅

# 特別会計

## 国民健康保険特別会計

総額 4億2011万3千円

## 介護保険特別会計

総額 6億6988万5千円

## 後期高齢者医療保険特別会計

総額 6279万2千円

## 簡易水道特別会計

総額 9199万7千円

## 公共下水道事業特別会計

総額 1億502万9千円

## 農業集落排水事業特別会計

総額 4879万円

# 条例の改正

○人事院が行った給与勧告に基づき所要の改定を行う。

・日野町職員等の給料及び費用弁償等に関する条例の一部改正

・日野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

・日野町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正

・日野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

○日野町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

# 令和3年度補正予算

(第13号)

## 一般会計

1239万2千円を増額し、補正後一般会計予算総額を50億7401万1千円とする。

## 《主な歳出》

### ○戸籍住民票事業

増額176万5千円

・マイナンバーカード所有者の転出・転入手続きシステム改修費ほか

### ○義務教育学校建設事業

375万円

・義務教育学校建設に伴う消耗品費

○基金積立(愛と元気の日野町ふるさと基金積立金)

550万円

## 特別会計(主なもの)

### ○国民健康保険特別会計

補正額 2399万7千円

・医療給付費及び高額治療費が増額しており、増額補正が必要

### ○簡易水道特別会計

補正額 △384万9千円

○公共下水道事業特別会計  
補正額 △270万3千円



マイナンバー登録は役場で



# 臨時議会

令和4年第1回日野町議会臨時会（1月18日）

令和3年度一般会計補正予算（第12号）

6761万3千円を追加し、  
予算総額を5億5641万9千円とする。

《歳出の主なもの》

○住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業

5798万6千円

・住民非課税世帯などを対象に1世帯当たり10万円を支給する。

令和4年第2回日野町議会臨時会（2月10日）

○議席の指定数及び変更について

・この度、町議会議員補欠選挙において当選された議員の議席指定及びこれに関連して議席の変更をする。また、常任委員会委員の選任を規定により定めるものとする。

議案の概要		中山法貴	梅林敏彦	金川守仁	松尾信孝	中原信男	松本利秋	安達幸博	佐々木求	竹永明文	採決
令和3年度補正予算	専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	一般会計補正予算(第14号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計補正予算（3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	簡易水道特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	農協集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例の一部改正	日野町職員の給与に関する条例について人事院が行った給与勧告に基づき所要の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	日野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	日野町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	日野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	日野町職員の育児休業に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	日野町消防団条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書	令和4年度日野町営土地改良事業経費の賦課基準並びにその徴収時期及び方法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	日野町営駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	日野町林業総合センターの指定管理者について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度日野町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	令和4年度日野町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度日野町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度日野町後期高齢者医療保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度日野町簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度日野町公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和3年度一般会計補正予算(第15号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	建設工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	水田活用の直接支払交付金に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決





中原 信男議員



### 高齢者の集う活動支援は

**議員** この問題に対する町長の基本的な考えを伺います。

**町長** 皆さんが気軽に集え、無理なく楽しく通い続けられて自由に参加できる場の確保は、非常に重要なことと認識しています。

**議員** 町内における高齢者が集う活動及び取り組みには、どのようなものがあるのか、またそれらの活動状況を伺います。

**町長** 代表的なもので百歳体操がございます。コロナ禍で難しい局面ではありますが、月に2回、ボランティアグループ主催の「わすれんぼカフェ」を開催しており、50人程度が参加されています。

**議員** 高齢者の集いの現状を踏まえ、各地域の要望や意見を伺いながら、対応や対策を講じる必要を感じます。活動支援を幅広く、どう展開して行くのか、町長の考えを伺います。

**町長** 各自治会や団体などのご意見ご要望を聞きながら、地域のニーズにあった居場所づくりの構築を急ぎたいと思っております。

### 町営住宅等売却条例の再提案は

**議員** この条例は、12月定例会で提案され否決されましたが、町営住宅に関する今後の維持、管理、運営等、住宅行政推進には必要であると考えます。3月定例会に提案しなかつた理由と今後の方針をお聞かせ下さい。

**町長** 12月議会でいただいたご指摘を一つ一つ検討、修正するのに時間を要し、今議会での上程には間に合いませんでした。できるだけ早い時期に提案できるように引き続き作業を進めて参ります。



わすれんぼカフェは大賑わい



安達 幸博議員



### 日野町創生戦略の実施計画が必要

**議員** DXの所見や取り組み方をお尋ねします。DX推進計画を策定しませんか。具体的に実行したいことがあればお教えください。

**町長** DXは業務の流れや組織の在り方を変革し、住民の生活様式を大きく変革する可能性がります。第2次きらり日野町創生戦略

を進めていくうえでDXに連なる事業を掲げております。役場内に日野町DX推進体制を設置します。検討作業部会を置き、DXの推進目標の設定、具体的な取組項目の選定、作業部会への検討指示、各種検討項目ごとに部会を設け、各課からアイデアを持ち寄り進めていきます。

DX推進計画策定は現段階で私自身の頭に具体的にこれなら我が町で実現できる、これなら計画として成立するというイメージを持つには至っておりません。今後、推進体制において協議を重ね、イメージができてくれば方針を示すこととなります。それが計画という形になるかどうか分かりませんが、創生戦略を押し進め、さらには創生戦略の見直しに繋がるアイデアになればと考えております。

**議員** 日野町には総合計画がありません。第2次きらり日野町創生戦略が、一番上位の計画書です。DX推進計画はその下位の計画に位置づけられます。きらり日野町創生戦略の実施計画になるものと私は思います。

**町長** 創生戦略の下位のアクションプランとして手法など具体的な計画は、議員が述べられた実施計画になると思います。推進本部、作業部会のほうで検討して形にしていきたいと思います。



タブレットを見る高齢者







松本 利秋議員



**元気なまちづくりに集落支援員を**

**議員** 元気で住みよい町づくりを推進するために、集落支援員制度（専従と兼業）があります。交付税措置のあるこの制度に町はどう取り組まれるお考えですか。

**町長** 新年度は小さな拠点づくりとして、菅福地区に専従の集落支援員を配置。また、希望する自治会に兼業支援員をモデル的に配置し、自治会の取り組みを支援したいと思います。

**議員** 本町の現状からして、希望の有無にかかわらず町全域を区分



心が和む花づくり  
(奥渡り彩り倶楽部)

し、そこに集落に精通した支援員を配置すべきであると考えますが、今後の構想と推進について伺います。

**町長** 地域住民の皆様と話合っていていかなければなりません。推進・設置には、私は旧村を単位と考えます。

**地域活動交付金の見直しを**

**議員** 集落で活動する場合、上限20万円、補助率2分の1の交付金。この補助率の見直しはされませんか。

**町長** 今のところ補助率の見直しは検討していません。

一方、自治会向けの集落活性化型交付金として、上限5万円、補助率10割の交付金があります。これは、自治会ごとに助成する交付金ですが、老人会などグループ活動に活用していただくことも可能です。また、複数の自治会が一緒に事業を行うことも可能です。

**町民の声を聴いてほしい**

**議員** 町長自らが集落に出向いて、町民の声を聴かれることが重要です。

**町長** ぜひ町民の皆様の声をお聞きしたいです。ぜひ町民の皆様の声をお聞きしたいです。ぜひ町民の皆様の声をお聞きしたいです。



梅林 敏彦議員



**タクシー実証実験後の料金は**

**議員** 新年度より1年間、タクシー助成券利用者の負担額を上限500円に引き下げる実証実験を行うということですが、実験の結果、次年度にはまた料金を変更することもあるのか伺います。

**町長** 基本的には運行体制の実証実験であり、料金の変更については現在、明確には言えません。

**あいきょうの経営継続問題**

**議員** 黒坂唯一の食料品店であり、また日野町全域にわたって移動販売をされているあいきょうの経営継続問題について、町民の皆さんに説明を求めます。

**町長** 昨年6月、社長より閉店の意向をお聞きし、町として翻意をお願いしたのですが、一線を引く意志は固いことが分かりました。黒坂店舗と移動販売については本年9月まで現体制で継続し、その

間に継承先等を調整することになっていますが、未だ今後の方向性を定めることができていません。

しかし、特に移動販売については、在部の高齢者の方にとって必要不可欠な生活インフラであり、絶対に継続するという不転の決意で取り組みを進めてまいります。

**集落再生と小さな拠点作り**

**議員** 新年度に初めて配置される「専任」の集落支援員2人の採用状況と活動内容について伺います。

**町長** お一人は、県の職員として地域振興専門に関わってこられた方で、本町では中山間振興監として黒坂をはじめ日野町全域の集落再生に携わっていただきます。

もうお一人は、菅福地区の小さな拠点事業を推進していただく方で、町内からの採用です。



移動販売は命の綱





佐々木 求 議員



### 集落支援員と議論の場が必要

**議員** 集落維持の集落支援員の配置は、前回の質問時より「ひの防災福祉コミュニティセンター」の計画を示すなど前進面はありますが、その考え方を問います。

全町的な視野と配置が大切で、これまでの教訓・問題点・処方箋など、どこに集約・検討・共有されていますか。

**町長** 高齢化に加え、コロナ過で地域活動や話し合いが十分できていないという報告を受けています。

交流し、話し合える機会を増やし、高齢者の見守り活動・料理教室・視察研修など自主的な地域活動を発展させてきました。

配置する集落支援員は自治会機能の維持ができない集落の生活を守るため、複数の集落をまとめ、支え合って行く仕組みづくりを行ってまいります。

具体的な活動は高齢者支援・防災活動・生活機能の確保など困難な課題やテーマを洗い出し、自治会を横断した活動をコーディネートしていきます。

これまでは作成された「処方箋」はないが、4月から中山間地域振興監や企画政策課など連携し、支援員も議論する場も頻繁に設けていきます。

**議員** 防災では、支え愛マップ作成を100%徹底するのは町の責任。具体的課題を明確にして地域での課題、災害ごとの課題をまず明確にし、話し合いを進めていくことが大切ではありませんか。

**町長** 個別に声をかけ、取り組み支援をしていきます。6、7月には集会所現況調査アンケートを行い、来年度以降個別指導や助言ができないか検討しています。



菅福すまいるカフェ

## 一般質問

### 決議書

ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議

一般のウクライナに対するロシアの軍事行動は、力により他国の主権及び領土の一体性を著しく侵害するとともに、ウクライナ国民の平和で安全な生活を奪うものであり、武力行使を禁ずる国際法の深刻な違反であると同時に、国連憲章の重大な違反である。

去る2月28日から国連総会緊急特別会合が開催され、3月2日にロシア軍の完全撤退などを要求する決議案が14か国の賛成を得て採択されている。いかなる国であろうとも、力による一方的な現状変更は断じて認められない。ロシアによるウクライナ侵攻は、欧州だけでなく、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがす極めて深刻な事態であり、我が国の安全保障の観点からも決して看過できない。

よって日野町議会は、強くこれを非難するとともに、ロシアに対し国際法を遵守し、即刻、攻撃を止め、軍を撤収するよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月15日

鳥取県日野町議会

### 意見書

意見書の提出

農林水産省により、水田活用の支払い交付金の適用ルールの見直しを検討されています。このことは主食用米だけでなく転換作物の栽培にも影響を及ぼし、営農計画の変更を迫られ、農業所得の減少も懸念されます。

ついては「水田活用の直接支払交付金」の交付対象水田の見直しに当たり、議会では以下の内容を含む意見書を提出しました。

一 畦畔等を有し、用水供給設備を有している農地に関しては、令和八年度までに水張りが行われなくとも交付対象水田とすること。

二 戦略作目等の本作物化に向け取り組んだために交付対象水田とならなかつた農地、および水田活用の直接支払交付金の適用ルール厳格化により除外された農地に関しては、別途財政的支援を設ける事。

提出先

内閣総理大臣  
農水大臣  
衆参両院議長 外

令和4年3月25日

鳥取県日野町議会



# 総務 経済

## 常任委員会

地域おこし協力隊との  
意見交換会 3月14日



地域おこし協力隊員との意見交換会

地域起こし協力隊として日野町に来てくれている若い世代の人たちから意見を聞き、日野町の将来のために我々議員は何ができるのかを考え、参考にすることを目的に開催しました。

参加の協力隊員は10名。

出身地は関西、関東、中京などさまざまで、日野町での活動は、農業（久保田、

打越、小河、河北）、椎茸栽培（坂田、新松）、賑わいづくり（三好）、鳥獣害対策（川野）、教育委員会（長谷川、中谷）など多岐にわたっています。（敬称略）

皆さんから出された意見の一部を紹介します。

●日野町の自然の豊かさにひかれて来たが、それだけでは他町と競合するので、宿場町やたたらやおしどりを活かした差別化が必要だと思つ。

●初めての一人暮らしで不安があったが、町の人たちが暖かく迎え入れてくれて嬉しかったし、助かった。日野町のかけがえのない魅力だと思つ。

●今後、地域に長く住むことにより地域との繋がりがネットワークが広がり、仕事ももっとやりやすくなるだろうと感じている。

●協力隊員だけでは地域おこしはできない。受け皿となっている組織も高齢化してきており、そこに対する支援も必要と感じる。

●農地や作業場の確保が簡

単ではない。

●鉄道が通り、町内に駅が3つもあることは貴重な資源。日野病院、日野高校があり、米子市へも近い。また、根雨には飲食店が多い。

聞き取りを終え、多くの協力隊員共通の課題があることが感じられました。3年間の協力隊活動を終えた後も町に住み続けるには経済的な基盤が必要。それをいかにして確保するか。

委員会としても、そのことをしっかりと受け止めて今後の活動の参考にさせていただきます。

# 教育 民生

## 常任委員会

義務教育学校開校の進捗  
状況 2月11日

日野町立日野学園の令和5年4月開校に向けて、令和4年度4月から現根雨小学校校舎の改築工事が始まります。工事中の1年間、根雨小学校の生徒は日野中

学校校舎に引っ越しをし、小学生と中学生が同居して学びます。

そこで委員会は、教育委員会に左記のことについての聞き取りを実施しました。

- 1、通学路の安全確保
- 2、日野中学校内の設備変更工事進捗状態（トイレ・教室等）
- 3、安全管理体制
- 4、義務教育学校校舎改造案に対する保護者からの意見・要望についての対応
- 5、校舎増改築に係る進行スケジュールの確認

今後は教育課程などについても意見交換をしていきたいと考えています。

公設塾「まなびや縁側」の  
運営について 3月11日

日野郡3町が連携して設立運営する公設塾まなびや縁側の目的は、地域の人と高校生がフラットな立場で関わっていくことを目的として開設された塾です。江府町役場内に事務局を



教育委員会との意見交換会

置き、参加者が集まりやすい日野町の山村開発センター1階で活動をしています。この公設塾の在り方が少し変化し、各町が独自性を生かして取り組むこととなりました。そこで、今後の方針について聞き取りをしました。

具体的には、基礎学力支援、マイプログラム、地域交流イベント、縁側ミーティングをベースとしたものは現在通りとして、新たに日南町と江府町にそれぞれのキャンパスができることとなります。

聞き取り後、各町が連携して、生徒が参加しやすいように創意工夫するよう指摘しました。



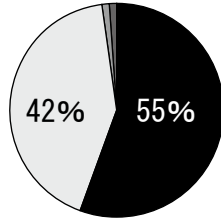
# 日野町議会に関する アンケート調査の集計

日野町議会では、議会改革推進特別委員会を設置し、議会改革に取り組んでいます。その一つとして、審議の過程のテレビ中継を始めました。

この議会中継についての「意見をいただく」とともに、議会に対する「意見を伺いました。」調査方法は、スマホからと議会だよりにアンケート用紙と返信用封筒を添付し、3月15日で締め切り集計しました。217通のご意見をいただきました。町民の皆様のご協力に感謝申し上げます。

## 1. あなたの性別はどちらですか。

回答総数 217通  
 男 120人 (55%)  
 女 92人 (42%)  
 無回答 3人 (1%)  
 その他 2人 (1%)



## 2. あなたの年齢はどれにあたりますか。

20代 6人(3%) 30代 5人(2%)  
 40代 8人(4%) 50代 26人(12%)  
 60代 51人(24%) 70代 73人(34%)  
 80代以上 45人(21%)  
 無回答 3人(1%)

## 3. 「チャンネルひの」で放映されている日野町議会中継はご覧になっていますか。

毎回 15% 時々 49% 視ない 32%  
 無回答 4%

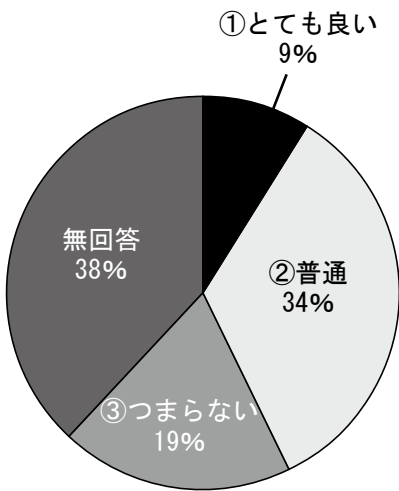
## 4. 「毎回視ている」「時々視る」とお答えになった方にお聞きします。インターネットでも視ますか。

視る 11% 時々 13% 視ない 48%  
 無回答 41%

## 5. テレビでもインターネットでも視ない方にお聞きします。

関心がない 11% 時間がない 13%  
 接続なし 9% 知らなかった 15%  
 無回答 60% その他 2%

## 6. 放送を視ている方にお聞きします。議会の内容をどう思いますか。



とても良い 9% 普通 34%  
 つまらない 19% 無回答 38%

### ◎とても良いの理由の主なもの

- ・議員さんの質問がいろいろ聞けて良い。
- ・以前は直接議場で傍聴していたが、自宅で議会の様子がわかる。

- ・町の行政がどのように話し合われているのが開示されていて、暇をみつけて視ることができる。

- ・議案検討がわかるようになった。

- ・日野町の問題点やどのような方向にいくのがわかるから。

- ・議員の方も積極的に質問されて、議会が活発で良いと思う。

- ・各議員の政治姿勢並びに執行部の住民生活の向上に資する取組姿勢が良くわかる。

### ◎普通の理由の主なもの

- ・生放送で良い。

- ・執行部の批判が多い。町が発展する様な意見を伺いたい。

- ・声が聞き取りにくいです。

- ・答弁も悪いが質問も今ひとつ。

- ・どの議員がどんな質問をするか、また課長、町長がどんな解答するか、興味あります。

- ・すぐその場でわかるのが良い。

- ・議員さんのもう少し、多い意見が聞きたい。

- ・座談会のように討論の場のように見えない。

- ・討論説明不足

- ・もっと前向きな議論をしてほしい。

- ・テレビは熱意、態度が多少分かる。初期より質問内容、提案などわかり易くなったが、「議



会だより」個人の活動内容の方が良い。  
 ・議員さんの質問が的を射ていない。質問がくどいし、嫌気がさす。

◎つまらない理由の主なもの

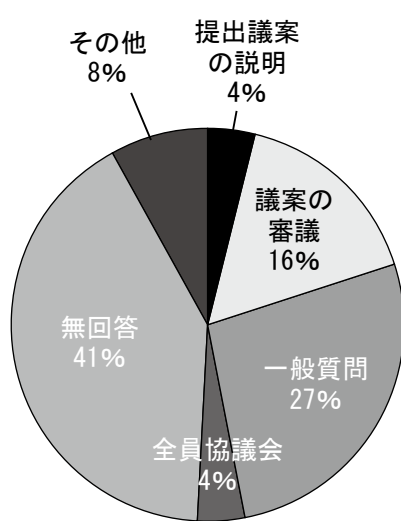
- ・前向きな議論が少ない。
- ・揚げ足取りの発言が多い。
- ・発展性がない。町のことを議論してほしい。
- ・何が言いたいのかわからないことが多い。
- ・町長があまりにも各課長に頼りすぎ、自身の意見等がきけない。
- ・議員1人3問以内の質問では討論にならない。

・町民や地域の課題が乏しく、総論的な討論に終始しているように見える。具体的な情況や現状や課題に対する議論が望まれる。

- ・問う議員も答える町長も全てが中途半端でスッキリしない。
- ・テレビ用の議会になっている！質問もいつも同じような事ばかり。

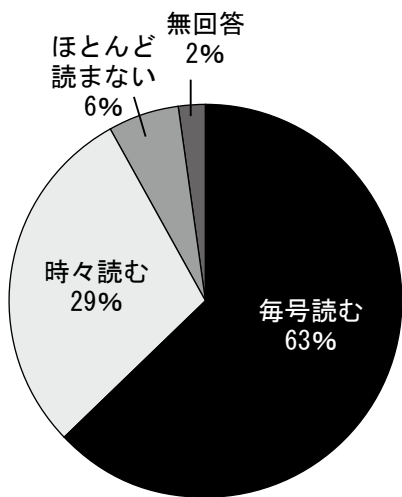
- ・返答が中途半端な気がする、活気がない。
- ・議員の資質（レベルが低い）
- ・質疑が少なく、答弁があまりまいであるも更に追求する議員がいない。
- ・質問、応答がきはきしてなく、スローを感じます。はっきりとした口調で答えて下さい。

7、放送を視ている方にお聞きします。議会中継でいちばん関心のある放送内容は何ですか。



提出議案の説明 4% 議案の審議 16%  
 一般質問 27% 全員協議会 4%  
 無回答 41% その他 8%

8、議会広報誌「ひの議会だより」を読んでいますか。



毎号読む 63% 時々読む 29%  
 ほとんど読まない 6% 無回答 2%

9、読んでいる方にお聞きします。どのページが読んで役立つていますか。

定例会・臨時会の記事	31%
一般質問	61%
委員会活動報告	28%
表紙と裏表紙	16%

◎ひの議会だよりの主な感想

- ・放送で理解出来なかった事がわかる。
- ・議会だよりで判らない事が少しかるから。
- ・各議員の考え、対する町長の答弁
- ・誰が、どういう考え方をしているのかを知ることが出来る。
- ・議員さんの考え方がわかる。
- ・議会が町政にブレーキをどのように掛けているか。
- ・問題点がよく出ている！
- ・町内の内容がわかる。
- ・身近に感じるから。
- ・各議員さんがどのような意見を持ち町長がどのように対応したか知りたい。
- ・どのような内容の質疑がされているかが気になるため。
- ・議員がどのような質問しているか、町民のための質問かを見ています。つまらない質問もあり。
- ・テレビでやっているから「スーッ」て見るだけ。
- ・各議員の取組について知ることが出来る。
- ・町民の今が見えるから。
- ・議会がわかりにくい事も、文字で理解出来る事もある。

アンケート結果

・「日野に生きる」は、地域密着で親しみが感じられ楽しみです。

・いろいろ地域で活躍している方を知りたいから。  
・議員の方の今なさっていることを知るため重要と思う。

・身近な内容で読みやすいです。  
・毎号綴っている。  
・集落の活動がよくわかる。  
・聞く(インターネット)より言葉としてきちんと残っていることが良い。

・関心ある事が少ない。  
・議会中継を見ないから。  
・これによって情報を得るから。

・各議案・陳情等の内容を具体的に知るため。  
・選ばれた議員の考えが知れる。  
・個々の議員の力量がわかるから。  
・写真を見るのが楽しい。

・各議員さんの資質がわかる。  
・議員さんと質問が、よくわかるからです。  
・記事で議決された議案の項目だけ出しても中身が全くわからない。意味がない。  
・町行政が良く分かります。

・自宅でゆっくりする時間ばかりだから。  
・議員の活動、町の施政方針、対策が見える。  
・町民の思い、期待をもっと感じるよう努力して欲しい。それと庁舎に行つて町長に会つても挨拶も声もない。

・議会、議員の活動がわかる。  
・議員の仕事ぶり、働きぶり、収入にあった働きをしているのか？

・質問が自分達の事ばかり。  
・議会を知るのに必要な事。

・私達が選んだ人がどの様に質問しているか、しっかりと眼を光らせています。  
また、とんでもない人もいる事も有り今更と思う事多々有り。

・議会の様子、議員さんの活動がわかる。  
・町外から、職場などで日野町内の情報を得る事や状況を知るにはやはり地元発信の物でなければ伝わらない。  
・議会の内容を確認出来る。

・少人数の集落でも生き生きと活動しておられる様子に元気を頂ける。  
・短時間で理解出来る。  
・日野町の現状と課題がわかる。

・身近に感じ、理解しやすい。  
・質疑を文字で確認できるので良い。  
・普段、議員が何をしているのか全く見えないから。

・議会中継もなく、普段どんな活動しているかわからないからとても有意義に見ます。  
・地域の情報収集  
・議員が町民等の為にどんな活動をしているのかがわかる。

・協議している内容がわかる。  
・議員さんや町長さんの考え方が分かる。どのような現状認識をされているかが分かる。  
・ただ目を通すだけ。

・委員会活動の内容がわかるから。

10、地方議会のなり手不足が社会問題となっています。その理由は何であると思いますか。(複数回答可)

議員の仕事に魅力がない	35%
議会に対する町民の無関心	52%
仕事・家庭との両立が難しい	25%
報酬や将来への不安	22%
地域・集落親類などのしがらみ	18%
その他	11%

### ◎なり手不足に対する主な意見

・なり手不足がない事はない。  
・町の今後をどうしたいとか強い想いのある人が少ない。リーダー的な素質も必要で誰でもできるわけでもない。

・元気のある人材不足かもしれない。  
・選挙に出たくない。  
・今の議員に魅力がない。

・若い人、女性のなり手が不足している。  
・人口減少・人材不足  
・若い人でも1期ははいても2期で落ちたらその不安。

・犠牲になると思つから。  
・魅力がないにつきる。

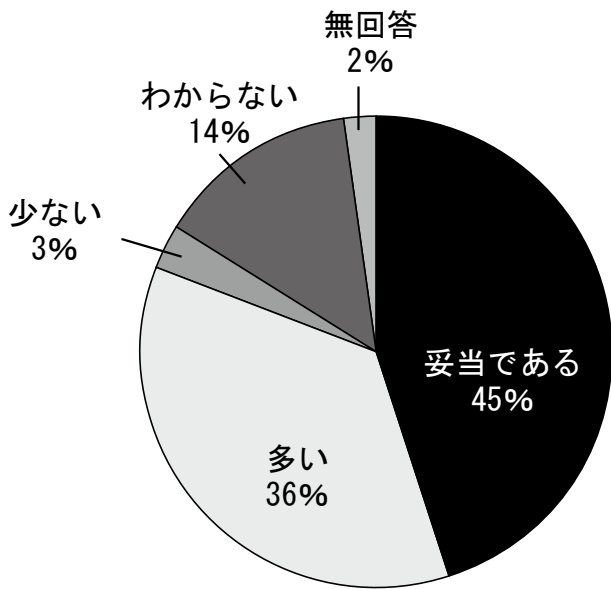
・若い方が取り組もうと思つと、今の報酬では家族の構成上難しい人が多いのでは？  
・能力不足を自覚。仕事ぶりが、全町民に知れるから(放映で)

・年上の議員の意見が通るだけ。下の意見は聞かない。昔ながらだから。



11、現在の議員定数(10人)をどう思われますか。(参考:日南町10人・江府町10人)

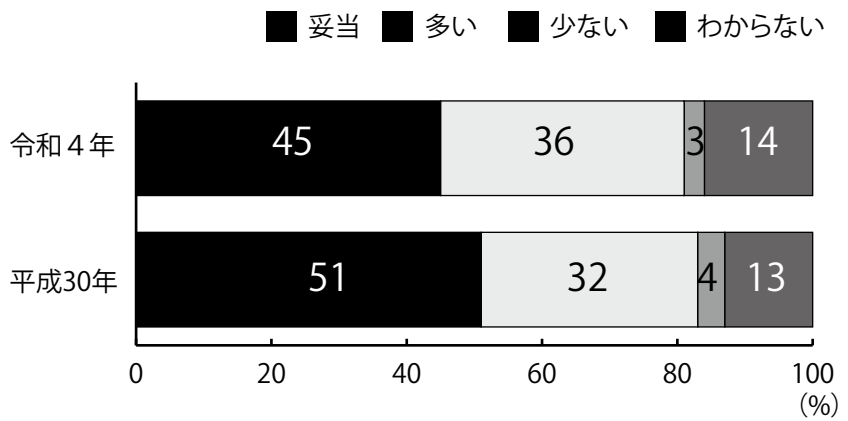
妥当である 45% 多い 36%  
 少ない 3% わからない 14%  
 無回答 2%



◎妥当である理由の主なもの

- ・人口は減になるが、ある程度人数が必要
- ・それなりの人数が無いと役目が果たせない。妥当と思うから。
- ・しっかり議論すれば。人数の多い少ないでは無いと考える。
- ・町を動かすにはこの人数でよい、少ないと片寄ることもあるから。
- ・減らしすぎると町民の意見を吸い上げる場も減ると思う。

議員定数



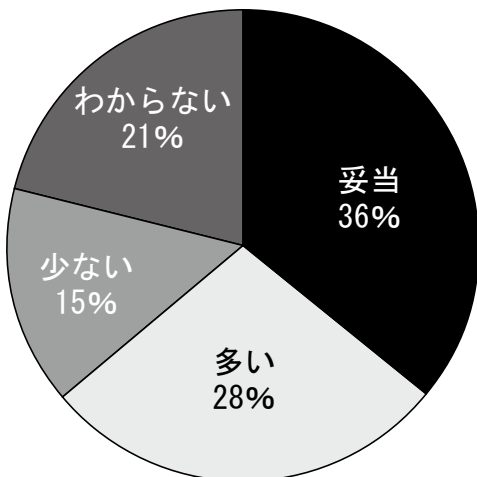
- ・町民人口は減っても、面積が減ったわけでない。地域代表でもあるのでこれ以上減らせない。
- ・日野郡各町に合わせ、10人でよい。
- ・住民数に対しての考えもあるが、少なくとも意見も発想も片寄るのではないか。
- ・委員会活動を存続するには必要では。
- ・いくつかの質疑の中で、組織づくりに最低人数を必要と文章で読んだことがあります。
- ・10人以下だと幅広い議論ができない。
- ・女性がいないが、人数はある程度必要。

◎多い理由の主なもの

- ・数の問題ではなくて質を上げて欲しい。
- ・人数よりも、年齢や性別などの多様さが重要。同じようなカテゴリーの人がたくさんいても多方面の議論ができない。
- ・多人数の方が多くの意見を望めるが、意見の無い、生活のための収入を得るためだけの議員は不要、何でもかんでも賛成するような議員は不要だ。
- ・自治体の人口当たりの議員数として、量的には妥当であると言えるが、質的に妥当と言えるかの方が重要であるから。
- ・人口の割に多い。半分でよい。
- ・報酬だけもらって仕事をしていない、議員の仕事をしていない人がたくさんいます。
- ・8人で良い!費用のムダ!
- ・人口減少に伴い、もう少し少なくとも活動できるのではないか。
- ・議員が何をしているのか具体的にわからない。
- ・人口減に準じ減らすべき
- ・人口が減っている。議員数も減らすべき。
- ・町の人口が減少しているのに10人は多い人口に対して多すぎる。
- ・議員の魅力がない。
- ・定数を少なくして報酬額を上げる。
- ・財政が圧迫されているのだから、議員数は減らすべきである。
- ・いろんな分野からの多様な世代からの代表を出すべき。10人ではそれが無理。

12、現在の議員報酬（月額2万1000円）をどう思われますか。

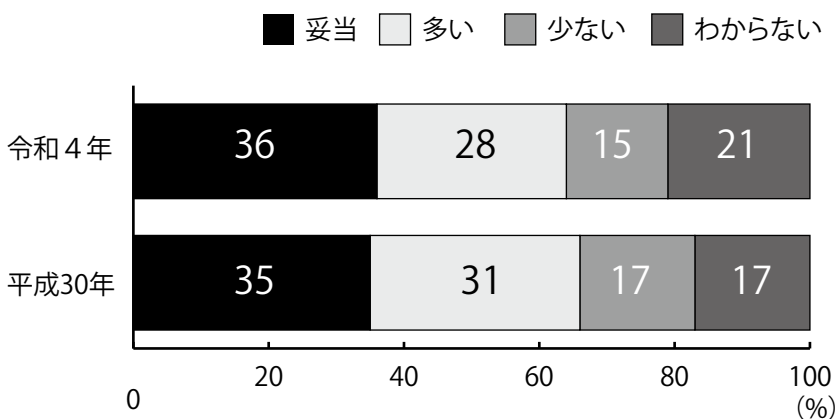
妥当 36% 多い 28% 少ない 15%  
わからない 21%



◎妥当の理由の主なもの

- ・仕事をしてくれれば問題ない。
- ・あまりやすいとなり手がなくなる。
- ・町財政、議員の生活両方共大切、今のままで良い。
- ・町のため、住民のために仕事をするなら、もっと多くても良い。
- ・報酬に見合った仕事、お願いします。
- ・一般の給与と比較するべし。80000円×20日くらいが妥当。
- ・他にボーナス等有り。
- ・活動している議員に対しては妥当。

議員報酬



- ・多すぎると町民の反感を買って、減らしすぎると議員の意欲が失われる気がします。
- ・町民の税金をもっと他の面で活かすべき。所得水準から見てもいいところだ。国・県が高すぎる。
- ・まあいいか！生活があるから。
- ・町民の代表であり、日野町の代表として重責とされる。

◎多い理由の主なもの

- ・現在の状況を考えてみて、増額は難しい状況かと思えます。
- ・議員報酬はここから各種税金が引かれるのでしょうか。もしそうであれば、新たな若い世代の担い手を望むには少ない金額かと思えます。現状は年金支給がある議員の方が多く、そういう方には妥当な金額。
- ・報酬が少ないと、なり手がなくなるから
- ・町民の税金をもっと他の面で活かすべき
- ・出席日数にしてはどうか？
- ・1ヶ月フルに活動しているかギモン。
- ・それだけのことをやってるとは思えない。
- ・議会のみ出席日数×最低賃金でも良いと思う！
- ・議会の時以外、仕事している様子が見えない。ボランティア活動にも参加すべき。町主催の集会、研修会など積極的に参加すべし。
- ・なぜ西部同一でなければならぬ？それぞれの町の予算（町税収入・高齢化率・その他）に合わせて。
- ・日当で良い。普段の行動がわからない。
- ・自分の給料と比較してしまう。正直な仕事と感じる、うちやましい。
- ・報酬に見合った仕事をしていない。アルバイトでフルタイムでも月13万円程度、議員報酬は半分でも良い。
- ・報酬を日当制にする。（少々高くても良い）
- ・報酬額に比べて活動日数が少ないのではと思





うから。

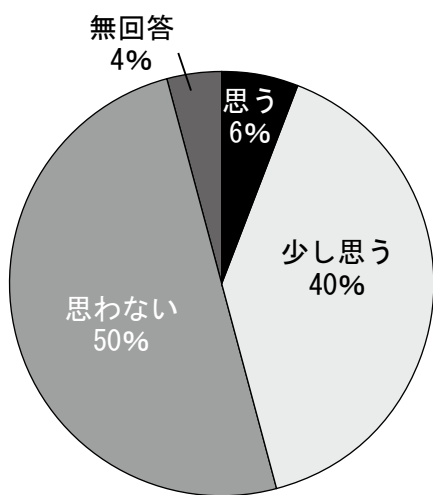
・年間実働日数は何日ですか？ 日当にしてみ  
てはどうですか？

### ◎少ない理由の主なもの

- ・若い人達が報酬が少ないから立ち上がらな  
い。
- ・金額が少ないから、他の仕事をしながらでな  
いと力が入らない気がします。
- ・生活できるほどあれば、もっと頑張れるやる  
気のある人が議員に出てくれそうです。
- ・若い人は、生活するには少なすぎる。
- ・公的年金受給者はこの程度でも良いかもしれ  
ないが若年層はこれでは生活できないので立候補  
出来ないのでは。
- ・議員だけの収入では、生活が大変だと思っ  
て生活できない。
- ・議員になる魅力に欠ける。
- ・単身者や年金がもらえる人はよいが、家族  
(子供)がいる若者は、出れないと思う。
- ・年金プラスの議員さんは、良いかもしれない  
が、妻子がいる場合、かきもちで仕事しないと  
いけないので上げていくべきだと思います。
- ・少なくとも倍。3倍望む。相応の報酬がなけ  
れば優秀な人材は残らない。
- ・若い人でも、生活費も合わせ活動費も合わせ  
立候補できる環境を整えることが大切
- ・もっと報酬をもらい、議員という仕事の魅了  
を増した方が良いと思う。

### 13、議会の議論に町民の声が反映されていると 思いますか。

思う 6% 少し思う 40%  
 思わない 50% 無回答 4%



### ◎思う、少し思う人の主な理由

- ・今日の話に合う。
- ・しがらみで。
- ・議員が町民の「なま」の声を本当に聞いているか？
- ・時々ピントの外れた議論もあった。
- ・当局となあなあのあるところがあるのでは・・・？
- ・年数がかかったが、反映されたから。
- ・一部の声が反映。
- ・実施されている事もあると思う。
- ・議員の思いを、もっと上乘せして発言ほし  
い。
- ・もう少し町民との交流を深め声を反映してほ  
しい。
- ・少しは、町民の声が反映されていると思うか

らです。

- ・一般質問で町民の考えに近いものがあると感  
じる。
- ・町民とよく話をされる議員さんは、的を射て  
いると思う。
- ・根拠中心に重点が置かれ過ぎ、高齢化対策に  
もう少し耳を向けてほしい。

### ◎思わない人の主な理由

- ・どの議員に苦情を言ってよいか判らない。
- ・町をどうにかせんといけん、と言ってるけど  
本当に思っていますか？
- ・政策が迅速に決まらず、閉塞感がある。
- ・直接町民への聞き取り調査を見たことがな  
い。
- ・学校の問題（建設費用）等、独断が多い！
- ・町民の意見を聞いているように思わない。
- ・議会の強い意志を感じない。
- ・議員と直接話すことがない。
- ・町民の声を議員が聞く努力が見えないです。
- ・議員さんに直接聞かれた事がない。「町民の  
声」はどうすれば議員に届くのか？窓口はない  
のか。
- ・町民から選出された議員なのに、活動してい  
る議員と活動していない議員とは大きな差があ  
るため。
- ・話し合いの場がない。
- ・一般町民との意見交換の場、接点がない。特  
に女性、若年者の声が拾えていない。
- ・議員個人の考え方が中心となっている。



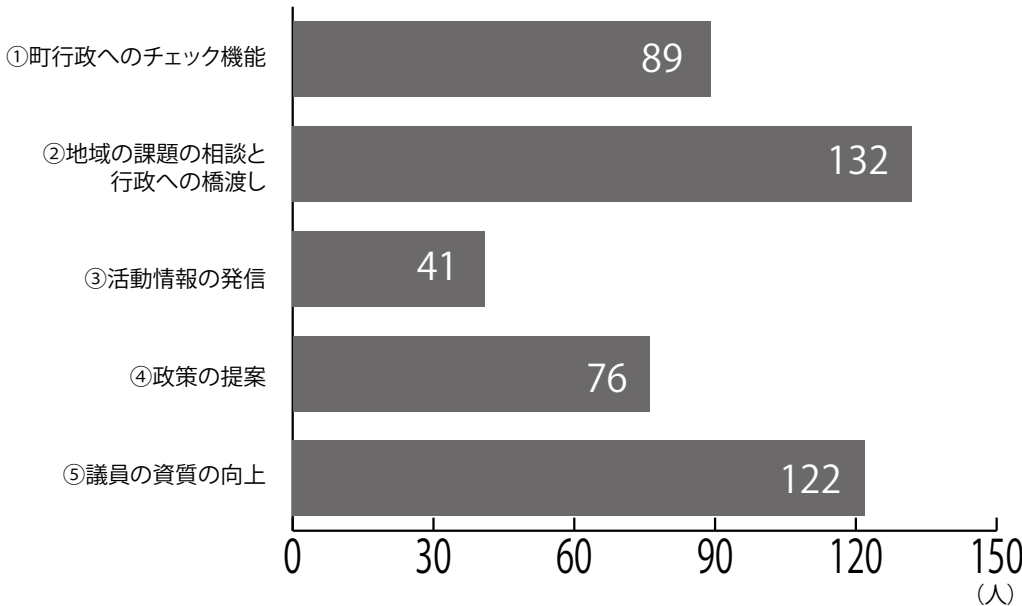
- ・発言する議員が少数で限定され、高齢者問題、減災課題、財政、将来施策が少ない。
- ・議員の調査・研究活動が不足している。
- ・町民の声を一生懸命聞こうとする議員が少ない。全て自分本位の意見ではないか。
- ・各町民との交流の場がない！出かけて意見等聞く姿もない！
- ・町民の真の声が届いていない。
- ・意見を上げてモミ消される。
- ・議員さんの仕事が町民にわかりにくい。
- ・行政への橋渡しが無い。
- ・議員が集落や各種組織・団体等の意見を聞く場を持ってほしい(自ら)。
- ・議員の方が住民の声を聞く行動が全く無い。

**14、あなたが議会・議員に期待することは何ですか。(複数回答可)**

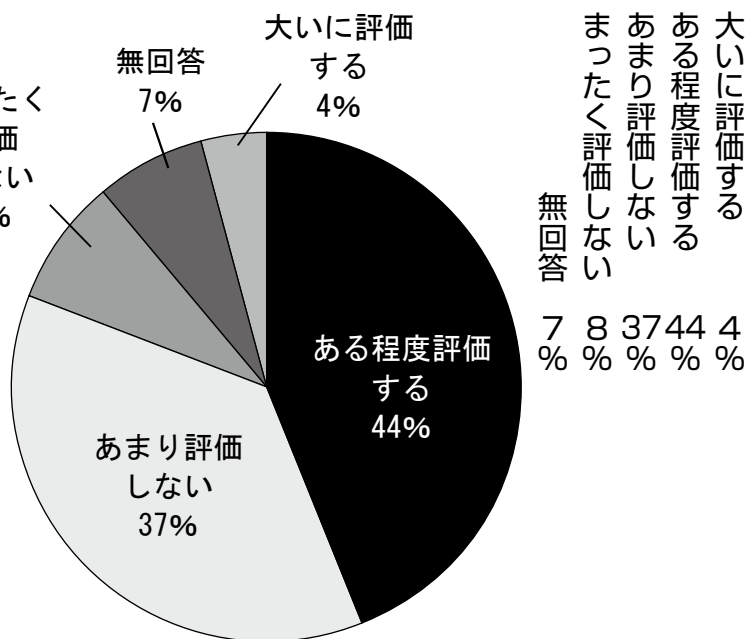
- 町行政へのチェック機能 41%、89人
- 地域の課題の相談と行政への橋渡し 61%、132人
- 活動情報の発信 19%、41人
- 政策の提案 35%、76人
- 議員の資質の向上 56%、122人

- ◎**主な意見**
- ・政策の提案↓できる能力がある？
  - ・未来を考える年代でないと・・・。
  - ・女性の議員は必要と思います
  - ・世界の動向、天下国家を考え、町政に反映させ

- せる姿勢
- ・地域と議員の会合など一度もない。
  - ・いつ、どこで、町民の声をきかれるのか、教えてほしい。
  - ・町長の考えをもっとハッキリと引き出させる事が必要だと思えます。
  - ・ただ言って終わってるので結果が欲しい。



**15、総合的に見て、日野町議会の活動をどのように評価されますか。**



- ◎**大いに評価、ある程度評価の主な意見**
- ・選挙の時以外、ふれ合いが少ないが評価
  - ・一部の議員の質問、活動に不満がある。
  - ・活動の報告のある議員は、良くわかる。
  - ・こういうアンケートをすること自体が、町民意見を聞こうとする態度だと評価できる。
  - ・活動状況がわかりにくい議員さんがおられる。
  - ・ある程度は、日野町議会の活動を評価したいと思ったからです。



発言者のマイクをオンにすると中継カメラが発言者に向く装置

- ・町内すみずみまでみてほしい。
- ・議員活動の報告を各議員が出す事。
- ・議会があるから、町行政は回っている。
- ・町民のため、町のためと思われる活動をしてもらえる議員がある。
- ・町民目線で、政策の提案をしてほしい。町長は(新しい事に)消極的だと思う。
- ・「議会だより」からの情報に限られるが、前向きな議論が行われていると感じる。
- ・町の状況をわかりやすく、説明出来る人もいれば、この人、何を言いたいのかな?とそんな人もおられます。
- ・テレビで視聴出来るようになって身近に感じるようになりました、
- ・スマホでアンケートをとるなど前に進めよう

いろいろなことに挑戦しようとするのが伝わってくる。

・議会中継が始まって議員の姿が見れ出した。結構執行部に言っていると感じることも多々あるから。

・以前と比較すると活動が見えてきた。

・活動は評価しますが、各議員の町を良くして行くこうとして思っている議員になってるのであれば、20年後の将来を見据えた執行部と議会の議論や提案をして欲しいです。

・問題の所在などは的確に把握しているように感じる。しかし、日野町の抱える問題や町民の個別の要望を複数のより大きなコンテキストのうちで理解していただけるとな面白い。

◎評価しない主な意見

- ・報酬目的、目先の政策
- ・議会の主体性を感じない。
- ・町民の声が反映されていない。
- ・議論を戦わさるべき相手、役場執行部の力量不足も原因
- ・テレビ中継がある事でパフォーマンスとなっている。
- ・発言も少ないので、皆さまそれぞれの案件を必要に応じて研究してほしい!!
- ・町長(執行部)と真摯な意見交換ができていないか疑問だ。
- ・町長に対して批判が多すぎる見苦しい。
- ・派閥争いみたいで感じがよくない。
- ・町のため本当にがんばってますか。

・日南や江府や伯耆など町政にアグレッシブな挑戦的な企画や実績がみられるが、日野は衰退を見守るポストケア施策ばかり、無策である。

・小さい町で、町と議員がお互いが話し合い方向を決めないと日野町の魅力は失われていく!!

・何をされているか分からない、影が薄い。

・何をされているのか、それがどのように町民にかえてきているのかまったくわからない。

・議員の経験年数に大差があり、諸事項において認識が大きい。

・もう少し、町民の声を聞き、議会に反映させてほしい。

・中には、町のためしていただいているけど、ほとんどの人は、評価なし。

・誰がやっても同じ結果になると思うから。

たくさんのご意見をいただき、また多くの要望もお聞きすることができました。ご協力に厚く感謝申し上げます。ただ、ページの都合上、すべてを紹介できない面があったことをご了承願います。

議会改革推進特別委員会では、このアンケート結果を重く受け止め、今後さらに議論を深めてまいります。

そして後日、出かける議会など、町民の皆さんとの意見交換会の開催に努めてまいります。

ありがとうございました。

アンケート結果

# 日野に生きる

## 第7回 わすれんぼカフェは大賑わい

この『日野に生きる』は、日野町に住む人々の暮らしと想いをテーマにお届けする連載です。

大丈夫、認知症なんて怖くない。こんな意表を突いたコンセプトで3年前にスタートしたわすれんぼカフェ。

この日も春の花で飾られた会場に一步入ると、華やかと言ってもいいほどの賑わいに圧倒されました。

「年に1、2回でなく、日常的にみんなが会って、見守りができる仕組みを作りたかったんです。それも楽しくね」（世話人の松田暢子さん）

ボランティアと役場、それに日野病院が協力して運営しています。

認知症は特別なことじゃない。普通だよ。日野町をそんな町にするための活動が着実に進んでいます。

○毎月の第1金曜日、午後1時半～3時に山村開発センターで開催しています。

### 誕生日には花束を



花束を受け取って「嬉しくて涙が出ます」。幸せの温かい涙です。

### ゆったりとティータイム



ボランティア提供の抹茶とコーヒーとお菓子で、ゆったりと落ち着いた時間が流れます。

### 今日の主役は私です



贈り物に応えて、今後の意気込みをマイクで一言。目が輝きます。

### 楽しいパステル画



ボランティアのスタッフがにこやかにサポートしています。（※黒坂地区でも、オレンジサロンかわこの名前で始まりました。）

### 歯科衛生師さんの指導で生まれたオーラル体操



1人でやる体操は長続きしないけど、みんなでやれば楽しく続けられます。希望者にはタクシーの無料送迎もあります。

## あとがき

ニュースに「コロナ」と「ウクライナ」の無い日はありません。多くの紙面や時間が割かれ、普段なら報道されているような出来事も埋もれている感があります。

3月議会では4月からの本年度の予算が審議され、承認されました。町民の皆さんの暮らしが今まで通りに続けられるように。

議会は「コロナ」や「ウクライナ」に埋もれてはおられません。皆さんの普段の暮らしを守るため、一生懸命に議論をしていることがお伝えできましたでしょうか。

（松尾 信孝 記）

議会広報常任委員会

委員長 梅林 敏彦

副委員長 安達 幸博

委員 佐々木 求

委員 中原 信男

委員 松尾 信孝

委員 金川 守仁

